

# 2020・教室・講座・イベントの成果報告

|        |   |     |  |        |
|--------|---|-----|--|--------|
| 主催者名   | 厚木市 環境農政部 環境政策課   |     |  |        |
| 題名・副題  | 第5期 ジュニアエコリーダー環境学習講座 ～森の木エクラフトでエコを考えよう～   |     |  |        |
| 月日・時間  | 10月31日(土) 10:00～12:00   |     |  |        |
| 開催場所   | 厚木市役所 第2庁舎 16階  |     |  |        |
| 部会・講師名 | 会員教室 香川興勝   | 参加数 | 7名   | 講師数 2名 |
| 写真     |    |     |    |        |
|        | 映像を用いて森の様々な動きを説明  |     | 森で集めた木エクラフトの材料   |        |
|        |    |     |  |        |
|        | 栗のトゲで「ハリネズミ」完成  |     | 森の中の仲よし兄妹  |        |
| 成果解説   | <p>この講座は、受講者が地球の環境問題を知り、私たちがいつまでも安心して暮らすにはどうすれば良いかを考え、伝え、実行する力を育てることが目的です。当会は「森の木エクラフトでエコを考えよう」と題した授業を行いました。</p> <p>始めに、森の大切さについて次の内容を映像などで説明しました。地球の歴史と生命の誕生、産業革命以降大量生産から現在の情報化社会まで革命的進歩が続いていること。森は、命の源であり生命維持に必要な酸素や水を作っていること。厚木の水道も相模川、酒匂川から供給され、その水は丹沢の森が作っていること。IPCC レポートを読んで立ち上がったグレタさんの話など。更に、私たちが今できることは「Think Global、Act Local」で身近なことから実行しようと呼びかけました。</p> <p>木エクラフトでは、森で集めた 60 種類ほどの材料を使用して、受講者とその家族合わせて 23 名が「森の生き物」を作りました。作品には名前を付けて、その由来を発表しました。栗のトゲを使った「ハリネズミ」や細い木を組み合わせた「木の森」などユニークな作品の発表があり会場は拍手喝采でした。工作中に、当会の活動内容や今後の活動予定などの質問があり、関心の深さに感動しました。</p> |     |  |        |